

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等克服研究事業（腎疾患対策研究事業））
分担研究報告書

沖縄県健診施設および専門外来における適正な研究登録体制の整備と
検体管理体制の確立にむけた研究

研究分担者

井関 邦敏 琉球大学医学部附属病院・血液浄化療法部・部長

研究協力者

久田友一郎 仁愛会 浦添総合病院健診センター・センター長

金城 幸善 沖縄県総合保健協会・理事長

潮平 芳樹 友愛会 豊見城中央病院附属健康管理センター・院長

仲田 清剛 敬愛会 ちばなクリニック・院長

古波蔵 健太郎 琉球大学大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座 講師

井関 千穂 琉球大学医学部附属病院 血液浄化療法部 第三内科研究補助員

研究要旨

健診・人間ドック受診者を対象に、診断可能なスコアリングシステムを開発した方法を用いて 1 次健診での尿潜血陽性者における潜在的 IgA 腎症患者の割合を明らかにし、IgA 腎症の早期診断・治療介入の礎とすることを目的としている。沖縄においては、昨年より 4 施設（仁愛会・浦添総合病院健診センター、沖縄県総合保健協会、友愛会・豊見城中央病院附属健康管理センター、敬愛会・ちばなクリニック）の協力を得て、健診受診者を対象としてデータ収集に努めている。血尿を伴う健診受診者における IgA 腎症の頻度は明らかにされるものと期待される。

A. 研究目的

健診での尿潜血陽性者中における診断
スコア法による IgA 腎症疑い患者の割合を
明らかにする。

歳)で2次検査を要する尿潜血陽性者を、開始から1年間に限定し登録した。同意書を取得できた対象者の検体および臨床情報を各施設で回収後、匿名符号化し順天堂大学に集約した。臨床データの管理、バイオマーカーの測定、データ解析はすべて順天堂大学医学部腎臓内科で行い判定する。判定結果を受診者にフィードバックする。IgA 腎症の可能性が高い例では、腎専門医を受診することを勧め、早期診断につなげる。

B. 研究方法

沖縄県の4つの健診施設(浦添総合病院健診センター、敬愛会ちばなクリニック、豊見城中央病院附属健康管理センター、沖縄県総合健康保険協会)の協力を得て、健診者(～50

発表誌名巻号・頁・発行年なども記入

(倫理面への配慮)

本研究において、ヘルシンキ宣言および「疫学研究に関する倫理指針（平成 20 年改正）」を遵守し、研究対象者の個人情報保護に努め、科学的かつ倫理的な研究を遂行する。

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

(発表誌名巻号・頁・発行年等記入)

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

C. 研究結果

平成 25 年 4 月 24 日に琉球大学での承認後、沖縄県内 4 施設（豊見城中央病院・ちばなクリニック・浦添総合病院・沖縄県総合保険協会）での倫理委員会承認を得て、順次本研究を開始した。平成 26 年 1 月末現在で、豊見城中央病院 129 名・ちばなクリニック 41 名・浦添総合病院 233 名・沖縄県総合保険協会 90 名の登録が完了している。

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

また、1 月末までに、検体登録順に、浦添総合病院 82 名、豊見城中央病院 26 名への結果送付が完了した。今後は、登録を継続しつつ、データ解析を進めていく。

D. 考察

平成年度の検体開始は 7 月からであるため、検体も検査結果もまだ少ない。今後は、研究参加者の増加を期待しながら、検体の検査結果を待つ。

それにより、血尿に関する標準化が図られれば、沖縄県での IgA 腎症の早期発見につながるのではないかとと思われる。

E. 結論

なし

F. 健康危険情報

(分担研究報告書には記入せず、総括研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表